

第 29 回 沖縄県高等学校 1 年生バレーボール大会

競技運営上の確認事項

大会競技委員長

1. 本大会は、2023 年度公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則および競技要項により実施する。
2. トーナメント戦方式とする。全試合 3 セットマッチとし、3 位決定戦は行わない。
3. 決勝戦以外の第 3 セットは 15 点制（リードするチームが 8 点に達したときにコートチェンジする）で行う。
4. 監督またはコーチは、試合当日 08:30*より各会場にて行われる代表者ミーティングに必ず参加すること。ただし、第 4 試合が初戦のチームについては、その限りではない。
* 大会 1 日目の代表者ミーティングの時間は、コート設営完了の目処が立ち次第、競技副委員長より館内放送にて連絡する。
5. 開館および試合開始時刻は、抽選会および代表者会議資料に記載してある通りとする。全試合 60 分設定（試合開始時刻はホイッスル時間）で進行し、それより早く開始することはない。試合が連続する場合は、前試合終了の 15 分（3 試合連続の場合は、全試合終了の 30 分）後にコートインし、10 分間の合同練習後にプロトコールに入る。また、補助員後に続けて試合をする場合の合同練習は 20 分間とする。なお、前試合が早く終了した場合のコートインの時刻は、試合開始時刻の 21（補助員後に続けて試合をする場合は 31）分前とする。
6. 大会 1 日目のコート設営は、第 1 試合のチームが 08:30 に入館して行う。
7. 大会使用球は、(公財) 日本バレーボール協会検定人工皮革カラーボールとする。
男子：モルテン（V5M5000） 女子：ミカサ（V300W）
8. チームの構成は監督・コーチ・マネージャー各 1 名、選手 14 名以内とし、選手が 13 名以上の場合、リベロプレーヤーを必ず 2 名含むこと。尚、監督・コーチ・マネージャーの各章は、規定のものを各チームで用意し、明確に判別できる位置に付けること。また、監督・コーチが外部指導者の場合は、登録証も身につけておくこと。
9. 選手のエントリー（18 名以内）およびベンチスタッフの変更は、「参加申込書」原本の提出により行い、当該チームの初戦開始 30 分前までに、引率責任者が本部席に提出すること。提出後の変更は一切認めない
10. 各試合の「コンポジションシート」は、第 1 試合は、試合開始時刻の 30 分前までに、第 2 試合以降は、前の試合の第 1 セット終了までにエントリー委員に提出すること。ただし、試合が連続する場合は、前試合終了後に速やかに提出すること。また、各試合終了時に、主審または副審より受け取り、試合毎に提出すること。

11. 「ラインアップシート」は、公式ウォームアップ時に副審またはスコアラーに提出すること。
12. 引率責任者は、監督・コーチが共に外部指導者で、マネージャーが生徒の場合、プロトコール時に、主審による所在確認を受けること。
13. 第1試合のチームのコート練習についても、他の試合と同様に、入館後の10分間の合同練習のみとする。
14. 隣のコートで試合が行われている場合の練習はパス程度とする。
15. 公式練習終了15分後になってもコートに来ないチームは失格とする。
16. 準々決勝戦までの主・副審は、補助員チームの生徒（2・3年生）で行う。
17. 第1試合の補助員**（記録・点示・ラインジャッジ）は、当該コートの第3試合のチームで行う。ただし、大会1日目のE・Jコート、および、大会2日目については、当該コートの第2試合のチームで行う。第2試合以降の補助員は、前試合の負けたチームで行う。
** トーナメント表において、試合番号が○で囲まれている試合のチームで行うので、確認すること。
18. 給水のためのタイムアウト（給水タイム）を採用する。各セットにおいて、リードするチームが13点目に達した時、30秒間の給水タイムを自動的に適用する。最終セット（第3セット）についてはチェンジコートをしたあとに適用される。ただし、15点制の場合には適用されない。
19. ユニフォームとは、ジャージ（シャツ）・ショーツ・ソックスを指す。ジャージ（シャツ）・ショーツは色およびデザインが、ソックスは色および長さが統一されていることとする。
20. 太鼓等の応援は、試合進行の妨げにならない限り認める。

審判上の確認事項

大会審判委員長

1. 本大会は、2023年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。
2. チームは監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内である。選手が13名以上の場合は、リベロを必ず2名含めることとする。
3. リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。
4. リベロは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。2人のリベロはチームの他の選手と異なる色で、さらにお互いに異なる色のユニフォームを着用することもできる。

5. 試合開始前、監督は選手の名前、番号を記録用紙のチーム選手欄に記入するか、記入されたものを確認した後、サインをする。(チームキャプテンの番号を丸で囲み、リベロの番号を記入しサインをする。) また、チームキャプテンはトスの開始前と試合終了後にサインをする。
6. 各セットの開始前、監督は、スターティングラインアップを記入したラインアップシートを提出しなければならない。ラインアップシートは正しく記入され、サイン後、副審またはスコアラーに提出される。いったん提出されたラインアップは、正規の選手交代をせずに、ラインアップを変更することは認められない。
7. セット開始前に行うラインアップシートとスターティングプレイヤーの照合の際は、リベロを確認する必要はない。(リベロはベンチで待機)
8. コート上で円陣を組んで掛け声をかけるケースについては、ラインアップシート確認後は最大限スターティングメンバーの6名とリベロ2名の計8名までとする。
9. タイムアウトを要求できるのは、監督のみである。その際ラリー終了後に公式ハンドシグナルで明確に示すこと。
10. チームメンバーによる不法な行為(相手に向かって”ガッツポーズ”などで挑発・威嚇する行為など)に対しては、競技規則第21条「不法な行為とその罰則」に則って罰則を適用する。
11. 判定に対する質問ができるのは、ゲームキャプテンのみである。監督や他の競技者からの質問は受けつけない。(判定へのアピール等は警告の対象となります。)
12. 試合の前後は、選手全員がアタックラインに整列し、主審の合図で挨拶(拍手)する。なお、監督とチームキャプテンは、審判員にも挨拶(握手)する。
13. 競技中のコートワイピングについては、プレイヤー自身がコートを拭くことを原則とする。(チームで乾いたタオルを多く準備して下さい。スターティングプレイヤー全員がタオルを持つことが望ましい。)
14. 競技中の服装について
アンダーウェア等について(競技要項 p.69 抜粋)
 - (1) アンダーウェアはユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。
 - (2) 医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険である場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
 - (3) 明らかに色が違う腰に帯状にまくサポーター・コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。
15. いずれかのチームが13点目を得た時に、審判は、給水のため30秒間のタイムアウトをチームに促す。最終セット(第3セット)についてはチェンジコートをしたあとに適用される。ただし、15点制の場合には適用されない。(監督・コーチのもとに選手が集まらないように注意する。)

総務からの連絡事項

大会総務委員長

1. 参加者全員、服装を正し高校生としてふさわしい身なりと態度を心がけてください。
2. 各会場とも、体育館以外の施設へは立入禁止です。
3. 置き引き・盗難に注意して、貴重品はチームで責任をもって管理してください。
4. 各会場とも、ごみは各チーム責任を持って持ち帰りをお願いします。
5. 更衣室・ロッカーの占有は禁止です。チームの荷物を置きっぱなしにしないでください。
6. 体育館は土足厳禁となっています。外履き内履きの区別をしっかりとしてください。また、玄関の靴を脱ぎ履きするスペースは、靴を置く場所ではありません。他の人の出入りに迷惑が掛からないよう、玄関に靴を置きっぱなしにせず、チーム関係者は各自で靴の管理をお願いします。豊見城体育館に関しては、靴箱の利用もできませんので、各チーム、靴袋等を確実に準備してください。
7. 危険な場所で観戦しないで下さい。
8. 高校生の運転する車両での来場は禁止です。
9. 毎回忘れ物が多数出ます、気をつけて下さい。
10. 未登録の選手及び登録料未納の選手がいる場合、大会当日までに登録・支払いを済ませて、JVA チーム加入選手一覧表の差し替えをお願いします。

※ 以上、チーム関係者への周知徹底をお願いします。

※ 沖縄県バレーボール協会 Web サイト URL <https://www.oki-va.com>

上記ホームページに、随時大会に関する情報を掲載しておりますのでご活用下さい。